

「古志原小学校の給食委員会の活動に参加してきました」

1月24日に本校2年生の2人が、古志原小学校の給食委員会の活動に参加してきました。

「総合的な探究の時間」で行った「食品ロス軽減を促せるような取り組みをしよう。」という活動の成果を、そのうちの1人の母校である古志原小学校で実践させてほしいと依頼したところ、快く受け入れてくださいました。古志原小学校の給食委員会でも、ちょうど食品ロスをテーマに活動していたところだったので、その活動の一環として実践させていただきました。

当日は、給食の食べ残しが一年間で一人当たり7kg（おにぎり58個分）あること、その食べ残しを処理するためには1kgあたり56円が必要なこと、食品ロスがひいては地球温暖化にもつながることなどを、クイズを交えながらパワーポイントで説明していきました。そして、給食センターの職員さんが、実際にどんな思いで給食を作っておられるのかや、食べ残しを少なくするために工夫していることなどを紹介し、苦手な食べ物を食べてみるための方法を一緒に考えました。

最後に、質疑応答や感想をお互いに紹介し合い、アンケートを取って終わりましたが、その後も何人もの児童の皆さんが個別に話しに来てくれ、小高の交流を持つことができました。

生徒たちは、古志原小学校の児童の皆さんが、自分たちの話を真剣に聞いてくれたことや、自分たちの投げかけに積極的に反応してくれたことに驚きと喜びを感じるとともに、給食の食べ残し（食品ロス）を少なくするためにどうしたらよいかを一生懸命考えてくれたことに達成感を感じたようでした。

